

【組織力向上委員会】担当事業

【例会】

- 1) 4月例会の担当
- 2) 10月例会の担当

事業項目

- 3、7
- 5、6

【事業など】

- 3) 年間拡大事業計画
- 4) 拡大事業の担当
- 5) 新入会員募集の推進
- 6) 東海コンファレンスの担当

事業内容		報告	協議	協議	審議	決算審議	事業報告
1)	4月例会の担当		○	○	○	○	
2)	10月例会の担当		○	○	○	○	
3)	年間拡大事業計画の担当				○	○	
4)	拡大事業の担当	○					○
5)	新入会員募集の推進	○					○
6)	東海コンファレンスの担当	○					○
小計		3	2	2	3	3	3

合計議案数

16

【総務委員会】担当事業

【総会】

- 1) 1月定時総会の担当
- 2) 6月臨時総会の担当
- 3) 9月臨時総会の担当
- 4) 12月臨時総会の担当

【例会】

- 5) 1月例会(新年互礼会)の担当
- 6) 12月例会(卒業式)の担当

【事業など】

- 7) 新入会員セミナーの担当
- 8) 出向者報告会の担当
- 9) 会員表彰の担当
- 10) 広報の担当
- 11) 京都会議の担当
- 12) 岐阜会議の担当
- 13) 岐阜BC大会2025の担当
- 14) BCアカデミー2025の担当
- 15) BC拡大セミナーの担当
- 16) BCじゃがいも大会の担当
- 17) 全国大会の担当
- 18) サマーコンファレンスの担当
- 19) JCI ASPACの登録窓口
- 20) JCI世界大会の登録窓口
- 21) 新入会員募集の担当
- 22) JCI大垣との交流事業の担当
- 23) JCI敦賀との交流事業の担当
- 24) 会計業務の担当
- 25) 協賛金募集の担当
- 26) メモリアルデーの担当
- 27) 夢見つけ講話の担当
- 28) 理事長予定者を祝う会

事業内容	報告	協議	協議	審議	決算審議	事業報告
1) 1月定時総会の担当				○		○
2) 6月臨時総会の担当				○		○
3) 9月臨時総会の担当				○		○
4) 12月臨時総会の担当				○		○
5) 1月例会(新年互礼会)			○	○	○	
6) 12月例会(卒業式)の担当			○	○	○	
7) 新入会員セミナーの担当	○					○
8) 出向者報告会の担当	○					○
9) 会員表彰の担当	○					○
10) 広報の担当	○					○
11) 京都会議の担当	○					○
12) 岐阜会議の担当	○					○
13) 岐阜BC大会2025の担当	○					○
14) BCアカデミー2025の担当	○					○
15) BC拡大セミナーの担当	○					○
16) BCじゃがいも大会の担当	○					○
17) 全国大会の担当	○					○
18) サマーコンファレンスの担当	○					○
19) JCI ASPACの登録窓口	○					○
20) JCI世界大会の登録窓口	○					○
21) 新入会員募集の担当	○					○
22) JCI大垣との交流事業の担当	○					○
23) JCI敦賀との交流事業の担当	○					○
24) 会計業務の担当	○	○	○	○	○	○
25) 協賛金募集の担当			○	○	○	
26) メモリアルデーの担当			○	○	○	
27) 夢見つけ講話の担当	○					○
28) 理事長予定者を祝う会	○					○
小計	20	1	5	9	5	24

合計議案数

64

一般社団法人 各務原青年会議所 2025年度 サマリー ver.1.1

	事業内容	番号	設置背景	設置目的
組織力向上委員会	ひとつづくり	①	社会情勢がめまぐるしく変化し、安定、安泰の時代ではなくなっている。しかしながら、この時代を生き抜くための自身の進歩将来設計や、自身の生活や将来を切り開く力が十分に養われていない。このように未来を生きる力を養うためには学びの機会を作り、気付きのきっかけを提供する必要がある。	自分自身の力で将来を切り開く事のできる人財の育成を目的とする。
	拡大	①	例年の会員拡大はなかなか成果が出ていない。これは会員拡大の担当者のみで運動を行ってしまっている現状だからである。メンバーそれぞれの得意分野を生かし、組織一丸の全員拡大を展開していく必要がある。	全員拡大に対する意識が向上し、結果にこだわる組織となることを目的とする。
	まちづくり	①	各務原市は産業や観光資源、交通の利便性にも恵まれ財政状況も安定している地域ではあるが、高齢者が増えており今後高齢化が加速していく地域の一つでもある。これには、大幅な人口減少は無いが若い世代の人口が各務原市に増えていないことがあげられる。若い世代の人たちがターンやUターンの運動が起こるよう、人口増加に繋がる運動を展開していく必要がある。	若い世代の人たちが恵まれたまち、住みやすいまちである事を知り、このまちに住みたいと思う若い世代が増加することを目的とする。
総務委員会		①	JCメンバーの所属背景に大きな変化が訪れている。これまでは地場の企業の2代目等の後継者としてリーダになるべき人財の発展、育成の場としてJCという組織が存在した。しかし現在は、サラリーマンや従業者、個人事業主といった、自らが働かねば会社を運営していくことが難しいメンバーが増えた。その結果、大きな負担のかかる役を受ける担い手不足が顕著として現れてきたため、同じ顔触れで回す組織となっている。組織が循環していけるような組織構築が必要である。	組織を合理化することで、健全な組織運営を行い、持続可能で継続的な組織を目指すことを目的とする。
		②	組織以前の個々人の問題点として、各務原青年会議所のメンバー自身の社会人としての資質の低下が見受けられる。出欠席の連絡を始めとして、大事な依頼をされた相手側がその返答がなされないまま進んでしまい、誰かが補助する場面が見られることが珍しくない。これは内部に留まらず、出向先や外部に対しても同じように報告・連絡・相談等の面が不十分のため、ひいては各務原青年会議所という団体に対するイメージの悪化につながっている側面もある。まず、メンバー一人一人が青年経済人として恥ずかしくない行動、振る舞いが出来るように自らを正す必要がある。	業務連絡を徹底して、組織に所属する個々人の当事者意識を芽生えさせ、青年経済人として真つ当な行動ができる人財の育成をすることを目的とする。
組織VISION策定会議		①	JCという組織に入会しても、学びを自ら求めず、ただ所属しているだけの人が増えてきている。自ら学びを求める姿勢が年々低下してきている。できた先に何が見えるのかが明確化できていないメンバーが多くいる状況である。当事者意識を持ち、一人一人が意志を明確にし、実行できる力を身に付ける必要がある。	ビジョンを共有することで、先を見通して、自発的に活動できる人財の育成を目的とする。